



Dr.CAN

UDS対応

車載診断プロトコルスタック



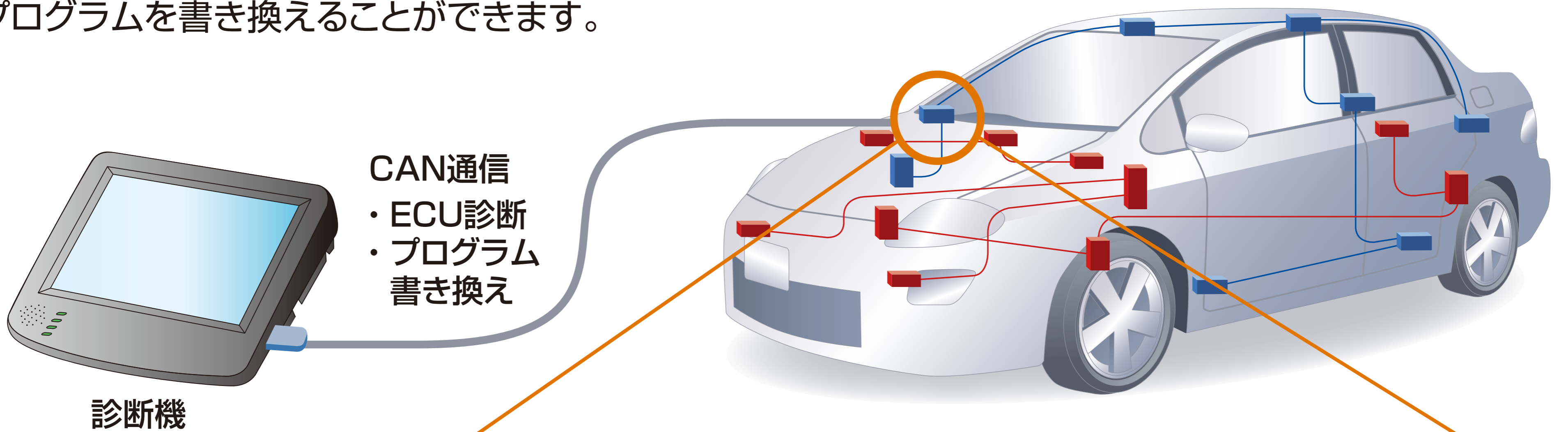
Dr.Repro

ECUリプログラミングモジュールサービス

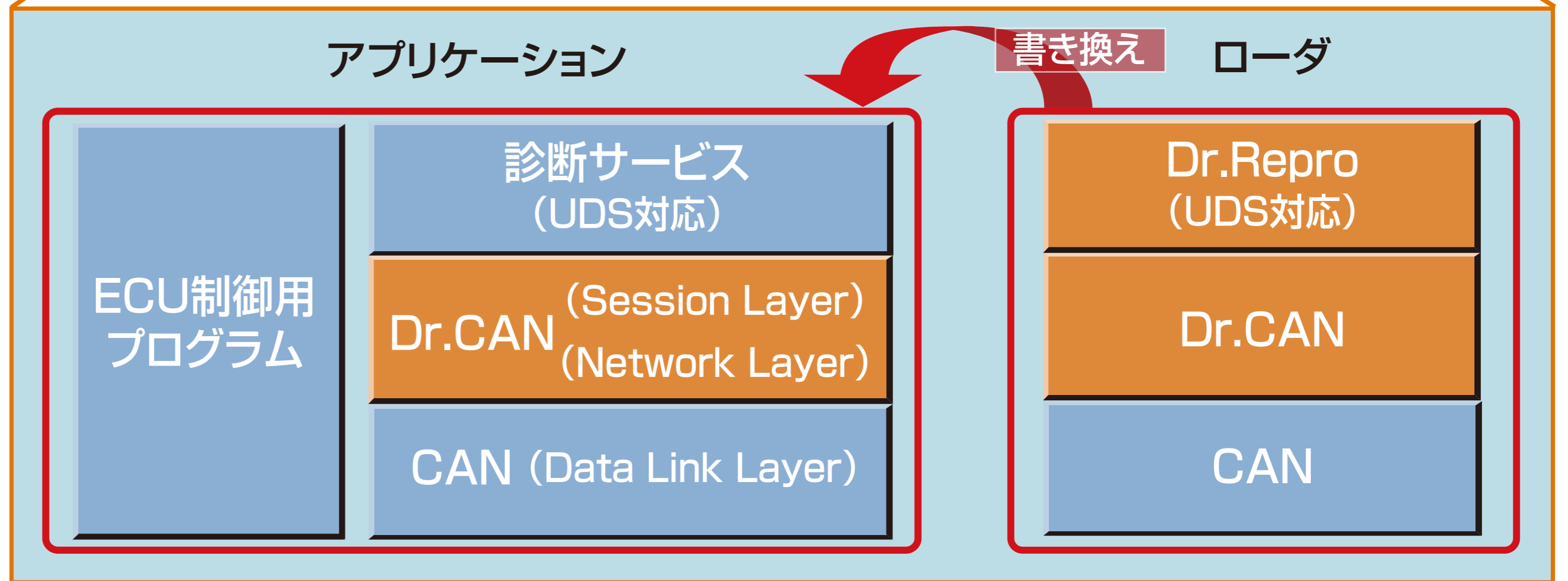
UDS (ISO 14229) とDiagnostics on CAN (ISO 15765) 規格に準拠しています。
イーソルは本製品の提供に加え、診断機能の実装をお手伝いします。

UDS (Unified Diagnostic Services)

診断機能は、ECUの設定/故障情報読み出しなどを行うために用いられます。また、故障したECU制御用プログラムを書き換えることができます。



ECU内ソフトウェア構造



メリット

ECU制御用プログラムの
変更の影響を最小にしたい

診断の実装が容易!!

診断の実装は一定周期毎にDr.CANの
1つのAPIをコールするのみです

診断機能の開発期間を
短縮したい

**従来の開発期間約11ヶ月が
2~5ヶ月に!!**

必要な作業はハードウェア依存部のポー
ティングと各診断サービスの実装、テスト
だけとなり、開発期間を短縮できます

ISO仕様を満たした
テスト報告を作成したい

**ISO仕様とテスト報告の
クロスリファレンス**

受託サービスにてイーソルがテスト実施
/報告サポートを行うことが可能です

機能安全適合支援ドキュメントパッケージ **NEW!**

- eSOL Dr.CAN for UDS QMパッケージ
- eSOL Dr.Repro for UDS QMパッケージ (※2017年12月提供開始)

